

インターネット通信の暗号化で使用されている暗号化方式「SSL 3.0」につきまして、脆弱性が報告されましたので、暗号化方式として「SSL 3.0」を停止し、「SSL」を基にセキュリティを向上させた「TLS」のみを使用します。

これにより、T L Sに対応していない古いバージョンのブラウザ等をご利用いただく場合、ホームページからの本の予約や、貸出の延長) が利用できないことがありますので、必要に応じてブラウザをアップデートしていただくか、別紙の設定変更を行ってください。携帯電話については、各携帯電話会社にそれぞれお尋ねください。

なお、Windows Vista 以降の OS (Windows 7 等) に搭載される Internet Explorer 7 等のブラウザは、「TLS」に標準で対応しているため、今後も引き続きご利用が可能です。その他のブラウザ (Mozilla Firefox など) についても、「TLS」に対応したバージョンであればご利用が可能です。

また、セキュリティ強化のため「SSL3.0」の無効化をおすすめします。

次ページに Internet Explorer での SSL3.0 脆弱性回避策を、Microsoft 社 HP から引用します。

Internet Explorer で SSL3.0 を無効にして、TLS1.0、TLS1.1、および TLS1.2 を有効にする

Internet Explorer の詳細設定のセキュリティを変更することにより、SSL3.0 プロトコルを無効にすることができます。

HTTPS リクエストに使用される既定のプロトコルのバージョンを変更するためには、次のステップを行います。

1. Internet Explorer の [ツール] メニューの [インターネット オプション] をクリックします。
2. [インターネット オプション] ダイアログ ボックスの [詳細設定] タブをクリックします。
3. [セキュリティ] カテゴリで、[SSL 3.0 を使用する] チェック ボックスをオフにし、[TLS 1.0 を使用する]、[TLS 1.1 の使用]、および [TLS 1.2 の使用] チェック ボックスをオンにします（使用可能な場合）。
4. 注:連続するバージョンを確認するのが重要です。連続するバージョンを選択しないと（例:TLS 1.0 および TLS1.2 を選択し、TLS 1.1 を選択しないなど）、接続エラーが起こる可能性があります。
5. [OK] をクリックします。

6. 終了し、Internet Explorer を再起動します。